

(様式第1号)

令和元年5月31日

議会報告・意見交換会報告書

天童市議会議長 赤塚 幸一郎 様

代表者 鈴木 照一
記録員 三宅 和広
班員 後藤 和信
" 山口 桂子
" 渡辺 博司

議会報告・意見交換会を開催したので、その概要を下記のとおり、報告します。

記

1 日 時	令和元年5月23日(火) 19:00~20:50	
2 会 場	市立荒谷公民館	
3 欠席議員	なし	
4 参加者数	7人(男性7人、女性0人)	
5 報告内容	平成30年度の議会活動状況など	
6 意見・要望等	市 民	議 員
	<p>1 3年ほど前に通学路となっている道路の拡幅整備について地権者のハンコをもらって要望書を出しているがまだ実現していない。市全体で何件の要望が出されており、出した要望がいつ実現するのか知りたい。両側が農地の所で500メートルのうち100メートル程の部分が3メートルほどしかなくブルドーザも脱輪するほど狭い箇所がある。せめてそこだけでも整地してほしい。</p>	<p>予算的にすべてできるものではないので、緊急性などの理由で優先順位は付けているのだろう。しかし、明らかにはされていない。 今回話が出たことを所管課に伝えたい。</p>
	<p>2 通学路となっている歩道の除雪が児童生徒が登校した後になったという事例があった。市に問い合わせたところ「申し訳ございませんでした。」とのことであったが、通学路の除雪を</p>	<p>何らかの理由でその日は通学時間帯後になってしまったと考えられる。通学路の除雪は通学時間帯前に終わるように所管課に伝える。</p>

<p>通学時間帯前にするのかどうか住民に分かるように説明してほしい。</p>	
<p>3 自主防災会の理事会があり、屋外スピーカーの設置について、なぜ干布地区は来年度になるのか、一斉に付けられないのかという意見があった。また、自主防災会を地区公民館毎に支部を置くことについていろいろ意見が出された。防災に関して性急に行うのか、予算上選別して行うのか。</p>	<p>30年度に山口と蔵増に付けたが、この地区が先行した理由は通学路に民家が少ないということであった。</p> <p>今後の整備計画も含めて総務教育委員会で所管課と話を進めるようにしていきたい。</p>
<p>4 政務活動費はもっと高額にしてもいいと思う。ただし研修内容について市民が納得できるように、具体的内容を示し市政にどう反映していくのか、成果が分かるようにしてほしい。地震で被害にあった白馬村を議員が誰も視察していなかった。被災した体験者の話を聞くことは役立つ。視察に行ったら実際の体験談を聞いて自分のところでどう生かせるかを考えられる。視察に行った際の報告を分かりやすくしてもらえるとありがたい。</p>	<p>視察を基に一般質問している議員もいる。</p> <p>議会だよりなどで、一般質問をした後の結果を示していくように心がけていきたい。</p> <p>詳細な報告書は作成しているが、議会だよりには紙面の制約があり、そのすべてを載せることはできない。議会だよりのページ数を増やしてほしい旨の話がでたことを議長に伝えたい。また、広報委員会で検討したい。</p> <p>ちなみに、政務活動費について天童市議会ではすべて領収書を添付して報告書を提出している。</p>
<p>5 議員のなり手不足が報道されているが、議員とは魅力のないものなのか。</p> <p>9月の選挙では無競争は避けてほしい。</p> <p>選挙しないと、その人がどれだけ評価され、品格があり市民からどれだけ支持されているか分からない。</p>	<p>他の会場では「無競争になるのは議員の活動がしっかりしていないから市民に議会の魅力が伝わっていない」と言われた。我々議員は魅力を感じてやっている。多くの議員も選挙はあった方がいいと思っているはずである。まずは我々議員が頑張ることが大事だと思う。</p>

	<p>6 総合計画の中で農業の位置づけはどうなっているのか。現在、何歳で農業に従事している人が何人いるか、後継者がいるかを把握すれば、5年後、10年後の天童市の農業の状況が予想できる。</p> <p>後継者確保は行政の支援と本人の努力しかないと思うが、並大抵のことではない。観光に持っていくのか、特産物を作るのか、販売先をどうするのか、天童市のPRをどうするのか、もう少し考慮してほしい。農業は地域をまとめる重要な職業である。</p> <p>10年後には周囲は遊休農地になり、サル、シカ、クマの遊園地になってしまう心配がある。市でもいろいろ鳥獣対策をしているが、狩猟免許を取るだけではだめ。ユンボがなければ処理できない。現在は処理に苦慮している。こういうことも考えてほしい。頑張っている若者もいる。行政でも目を向けてほしい。</p>	<p>農業問題については市でもいろいろやってといるが、まだまだ足りないところはあると思う。</p> <p>農業をしている議員が5、6人いる。農業振興について一般質問をしたり、市に働きかけをしている。今後も議会でも対応していきたい。</p>
	<p>7 ドモスは登録しなければならないなど、使いにくい。</p> <p>例えば、80歳以上は無料にするとか、所得のない人は無料にするとか、1日1回にするとか、一人暮らしに限るとか、なんかの形で知恵を絞って考えていかなければいけないのではないか。そうすることにより免許を返納する人が増えるのではないか。</p> <p>究極は、80歳以上は無料にすることだが、それに近づけていく努力が必要ではないか。</p>	<p>秦野市に乗合タクシーについて視察に行った。天童市より使い勝手のいいものであったので、そうした情報も行政に伝えていく。また、議員としても考えていきたい。</p> <p>市では定路線型から区域型に変えたいようであるが、バスが通っているため難しいようである。山交バスを説得していく必要がある。区域型への移行については今後も要望していきたい。</p> <p>寺津、高掬は区域型であるが、「助かっている」という話を聞く。また、イオンモール天童の無料送迎バスを</p>

		<p>寺津経由にできないかと思う。</p> <p>ショッピングリハビリというものが始まった。この制度を活用することもいいのではないか。</p> <p>まだ十分に周知されていないようなので、地域の方からもPRしていただくありがたい。所管課には町内会などの地域の方からPRしていただくことも必要である旨伝えたい。</p>
	<p>8 免許返納時に2万円いただけるが、1回500円しか使えず使いづらい。2年間では使い切らない場合もある。免許の返納率が上がるように議会でも対応してほしい。</p>	<p>免許の返納率が上がるように議会でも検討していきたい。</p> <p>(調査結果)</p> <p>高齢者運転免許証自主返納者支援事業のタクシー券の使用枚数については、平成30年度までは1回につき2枚まで(1,000円分)の制限となっておりましたが、これまでの利用状況と利用者の意見を踏まえ、今年度から枚数制限なく使用できるように変更しました。</p>
	<p>9 ショッピングリハビリの要件が厳しい。健常者でも一人暮らしの人などは月2000円で登録すれば週に1回は使えるようにしてはどうか。ショッピングリハビリといろいろなものを組み合わせた制度が作れないか。</p>	<p>ショッピングリハビリは始めたばかりであり、改善の余地はある。いろいろな意見を参考に所管課とも話していく。</p>
	<p>10 防災ラジオをいただいたが、アンテナを上げてもうまく受信できない。経費はかかるが市独自に運用する放送局があればいいのではないか。災害発生時の情報の伝達がうまくいくし、他にもいろいろな使い道があるのではないか。</p>	<p>北海道伊達町に視察に行った。放送局自体は小さなものであった。個人的には天童市でも導入したいと思う。</p>

	<p>11 昨年の12月の議会報告会の回答のなかで「山寺を支えた紅花文化」と表記されていた。これは「山寺が支えた紅花文化」が正しい。間違わないでほしい。</p> <p>天童ひなまつりのパンフレットに「日本遺産」についての記載が何もなかった。また、郡役所に「日本遺産」の看板がなかった。市として「日本遺産」をどう考えているのか。</p>	<p>所管課に確認して連絡する。</p> <p>(調査結果)</p> <p>ご指摘のように今回の天童ひなまつりのパンフレットには「日本遺産」についての記載がありませんでした。来年のパンフレットには記載するようにいたします。</p> <p>また、「日本遺産」の看板については、平成31年3月末までに4市3町で構成している「山寺と紅花」推進協議会の事業として、日本遺産に関する案内板等を旧東村山郡役所資料館、道の駅てんどう、天童駅及び市内の主な構成文化財に設置いたしました。</p>
	<p>12 荒谷西工業団地が完成したが、市街化調整区域のために住宅が建てられない。</p> <p>通学路沿いに整備することを要望している。寺津地区と津山地区では住宅公社による住宅団地造成の話があるが、荒谷にも作ってほしい。</p>	<p>中部、北部、南部、長岡の4学区以外で、周辺集落に住宅地を造るための調査をすると聞いている。</p> <p>寺津地区と津山地区は地域からの要望がまとまっていたと聞いている。荒谷地区でも町内会でとりまとめて要望すればいいのではないかと聞いている。</p>
	<p>13 観光を担当する地域おこし協力隊を採用すると聞いたが、郊外の周りの地域で活動する地域おこし協力隊も採用してほしい。</p>	<p>移住・定住担当と国際交流担当のそれぞれ1名を募集したが、残念ながら応募がなかった。移住・定住担当の地域おこし協力隊の方が周りの地域で活動する予定であった。なお、現在も募集している。</p> <p>総務教育常任委員会で熊本県菊池市に地域おこし協力隊の件で視察した。報酬が20万5千円と増額していた。12人の協力隊がおり、満了後に菊池市に残った人もいるとのことであった。</p>

	<p>14 中心部に空き家が多く発生し、芳賀などの周辺が開発され、さらにその周辺が過疎になっている。こうしたドーナツ化を直す施策が欲しい。</p> <p>学校近くに住宅団地が欲しいが、市街化調整区域であるために、条件が厳しく空き家を更地にして建てられない。個人でなく、市が入った形で進められないか。</p>	<p>条例が改正され、連たんしている集落の区域では立てられるようになった。詳しい情報は後ほど提供させていただきたい。</p> <p>高揃では建売で13軒作っている。</p> <p>(調査結果)</p> <p>平成30年4月1日から市街化調整区域における地域コミュニティの維持を図るため開発行為等の規制を緩和しております。</p> <p>規制緩和の内容としては、市街化調整区域内に指定区域として①市街化区域隣接・近接区域、②既存集落区域、③拠点集落区域を設け、指定区域内における市内外の方の住宅建築を認めるように見直しました。荒谷地区には既存集落区域を設けており、この区域内では、農地転用が可能であるなど他の法律との調整が整う箇所であれば、ミニ団地の整備が可能となります。</p> <p>ミニ団地の整備には道路状況などの条件もありますので、詳しくは都市計画課へ御相談ください。</p>
<p>7 所 感</p>	<p>具体的なお提案等をいただき、たいへんよかった。</p> <p>問題解決のために関係する常任委員会を中心にスピード感を持って対応していく必要があると感じる。</p>	